

農作物の生育状況（4月25日現在）

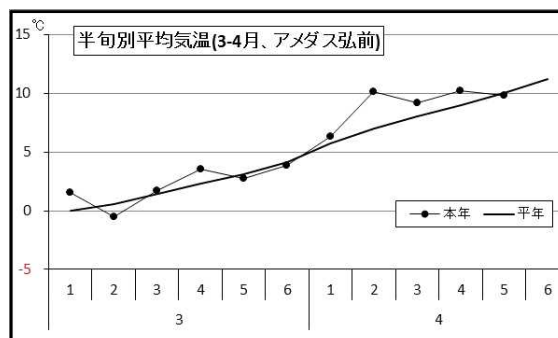
中南地域県民局地域農林水産部

1 気象

4月1～25日の気温は平年に比べ1.2℃高かった。降水量は平年比123%、日照時間は平年比113%となった。

アメダス弘前の積雪ゼロ日は例年より9日程度遅い4月4日となった。

4月18日の暴風によりハウスの倒壊被害があった。



2 水稻

(1) は種作業は4月9日頃から始まり、ほぼ終了した。最盛期は4月16日で平年より1日早く、出芽は順調である。

(2) 畦塗りはほぼ終了し、肥料散布が始まっている。

3 りんご

(1) 県生育観測ほ（弘前市独弧）のふじの展葉日は平年より4日早い4月15日であった。開花日は今後気温が平年並に経過した場合、平年より3日早い5月5日頃と見込まれる。

(2) 剪定はほぼ終了し、枝片付け、施肥作業が行われている。

(3) 「ふじの展葉1週間後頃」の薬剤散布は4月24、25日が盛期となった。

4 もも

(1) 平川市新館の川中島白桃の発芽日は平年より2日遅い4月19日となった。開花は平年より1日早い4月30日頃と見込まれる。

(2) 「開花直前」の薬剤散布は、4月24日頃から行われている。

5 夏秋トマト、ミニトマト

定植は平年並みの3月下旬から始まった。作業は順調で、ピークは例年並みの4月末と見込まれる。

6 にんにく

(1) 県生育観測ほ（藤崎町福島）の4月10日現在の生育は、草丈、生葉数とも平年を下回っている。

(2) 1回目の追肥は平年より3日遅れの4月8日頃となった。

7 花き

(1) トルコギキョウの定植は、例年並みの4月中旬から始まった。

(2) 輪ギクの定植は、例年並みの4月25日頃から始まった。一部で白さび病の発生がみられる。